

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【公開番号】特開 2003-220079 (P2003-220079A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 5 日 (2003.8.5)
 【出願番号】特願 2002-331044 (P2002-331044)
 【国際特許分類】

A 6 1 C 11/00 (2006.01)

A 6 1 C 19/045 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 11/00 B

A 6 1 C 11/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 14 日 (2005.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】咬合分析装置及び咬合分析方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 下顎運動を再現させる咬合器に取り付けるものであって、前後、左右に回動可能に支持され且つ上下に移動可能な歯列模型調整板を備えたことを特徴とする咬合分析装置。

【請求項 2】 歯列模型調整板は、左右に分割し、個別に前後に回動可能に支持したものである請求項 1 記載の咬合分析装置。

【請求項 3】 歯列模型調整板は、回転可能としたものである請求項 1 記載の咬合分析装置。

【請求項 4】 歯列模型調整板の前方部に、アイポイントパラレルチェッカーを備えたものである請求項 1 記載の咬合分析装置。

【請求項 5】 歯列模型調整板は、ウィルソンの湾曲に形成したものである請求項 1 記載の咬合分析装置。

【請求項 6】 下顎運動を再現させるフェイス・ボウ・トランスファーに用いるものであって、本体両側に仮想咬合平面記録具を備えたことを特徴とするフェイス・ボウ。

【請求項 7】 下顎運動を再現させるフェイス・ボウ・トランスファーに用いるものであって、本体正面にアイポイントチェッカーを備えたことを特徴とするフェイス・ボウ。

【請求項 8】 フェイス・ボウの正面に設けたアイポイントチェッカーで記録した瞳孔線を再現させるもので、瞳孔線表示部と、該瞳孔線表示部を回動可能に支持し下顎運動を再現させる咬合器のインサイザルピンに上下動可能に取り付ける支持部と、によって構成したことを特徴とするアイポイントパラレルチェッカー。

【請求項 9】 フェイス・ボウ・トランスファーにより顎関節と上顎の位置関係及び仮想咬合平面をフェイス・ボウに記録した後、前後、左右、上下に調整する歯列模型調整

板を備えた咬合分析装置を取り付けた咬合器に該フェイス・ボウをセットし、該フェイス・ボウの仮想咬合平面の記録を、該咬合分析装置の歯列模型調整板に再現することを特徴とする咬合分析方法。

【請求項 10】 フェイス・ボウ・トランスファーにより瞳孔線を記録し、これを咬合分析装置に備えたアイポイントパラレルチェッカーに再現するものである請求項 9 記載の咬合分析方法。

【請求項 11】 フェイス・ボウ・トランスファーによりフェイス・ボウの正面に設けたアイポイントチェッカーで瞳孔線を記録した後、咬合器に該アイポイントチェッカーをセットし、該瞳孔線の記録を、該咬合器のインサイザルピンに設けたアイポイントパラレルチェッカーに再現することを特徴とする咬合分析方法。